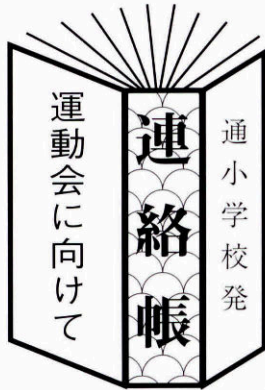




大嶋 かおり さん
6年(通2区)

9月21日、私たちの学校では
秋季大運動会があります。
今年、たてわり班競技や、
我がふるさと通などの種目もあり、
小学校最後の運動会にもな
ります。特に6年生にとっては、
いろいろな係もあって大変です
がんばっています。スローガ
ンも6年生が考えた、
「優勝は、汗と涙の結晶だ」
に決まりました。
このスローガンには、優勝は
汗と涙の結晶のように輝いて、
きれいなんだ。その優勝をめざ



してがんばろう。という意味が
こめられています。
私も輝くような汗、涙を流せ
て、6年生最後ということをし
っかり受けとめて、すばらしい
優勝をかざれるようがんばりま
す。



今年の高齢者番付で東の横綱に
なった感想を聞くと「別に何の感
想もありません。毎日健康で生活
しているだけです」と言う。「毎日
規則正しい生活をしています。朝
5時半に起床、部屋の掃除をして
8時に朝食。夕方は、5時に夕食、
10時に就寝です」と。「日中は、
趣味の菊や盆栽の手入れをします。
菊作りは入園してからずっとやっ
ており、今は、夏菊が終わって一
輪菊の手入れ中。土は市販のもの
を買って来ます。現在、一輪菊が
10鉢と切り花用の地植えの菊を
約30本ぐらい育てています」と
嬉しそうに話す。「花の時期には園
内に飾ったり、職員の方にあげた
りします。喜んでもらえるのが嬉
しくて作っています」と言う。「盆
栽は、椿、松、藤をやってお

ふるさとながと ④2

こんにちは



実原 由里 さん
(東京都調布市)

長門市の個性を大切に

略歴

昭和44年仙崎洲崎町で生
まれる。
(株)アート・メイク・トキ
退職後、現在主婦。

私が山口を離れてもう10年に
なりますが、年に一、二度帰省
します。この夏も7か月の長男
を連れて帰りました。その都度
発展する街に喜ばしくも、少し
淋しい複雑な気持ちになります。
王子山へ行ってみたら、よく子
どもの頃、お花見でゴザを敷い
てお弁当を広げていた広場に、
大きな砂利が敷き詰められてい
たり、郷里も少しずつ「よそ行
き」の顔をするようになりまし
たね。



仙崎中学校時代友達と(右側)

現在は東京とはいえ、区外に
住んでいますので、余り都会に
居るといふ実感はないのですが、
それでも海や山は今の私の生活
の中にはありません。子どもの
頃は、海で真っ黒に焼けるまで
泳いだものでした。目の中に真
っ直ぐに飛び込んでくる青い空
と海が、ごく当たり前だった環
境を今では貴重に感じます。自
分の子どもにも、そんな風に自
然と触れあいながら、たくまし
く育てて欲しいと思います。東
京では難しいようです。しかし、
山口に帰ればいつでも子どもに
美しい海や山を見せることが出
来るように、この豊かな自然を
守りながら、都会のものまねに
終わらない長門市の個性を大切
にした街づくりと発展を願って
います。